

図書館通信

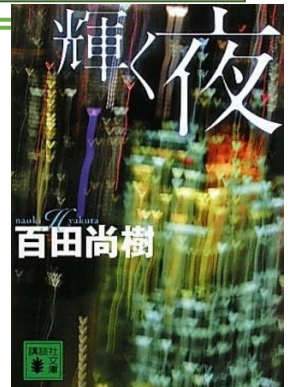
令和五年
七月号

☆安田先生(理科)のオススメ本 紹介☆

クリスマスイブ。社長から「リストラ」という“素敵”なプレゼントをもらった恵子は、クリスマスで浮かれるアーケード街を一人歩いていた。辺りからは楽しげなクリスマスソング、男女の笑い声がきこえる。最悪のクリスマス。キラキラと輝く商店街を横目に、重い気持ちで自分のアパートを目指す途中、恵子は一人のホームレスに気づいた。「何も私が恵むことはない」。恵子はその場を立ち去ろうとしたが、できなかった。結局わずかな食事と500円玉を渡しその場を去った。商店街の外れまで行くと、恵子は後ろから誰かに話しかけられた。さっきのホームレスだった。「実は俺、サンタクロースなんだ。いいもんやるから」と、ホームレスはポケットに手を突っ込んだ。自称サンタの男がポケットから何かを取り出そうとする恐怖。恵子がつくづくついていないと思った。ところが、ホームレスが取り出したのは、ただの使い古した鉛筆だった。「これ。魔法の万年筆」と、ホームレスは言う。願い事を書くと、3つだけ叶えてくれるらしい。ばかばかしいと思いつつも、試しに1つ。すると—。

第一話「魔法の万年筆」に始まり、第五話「サンタクロース」までのクリスマス感動胸キュン短編集です。季節外れなんですけどね、ほんとに大好きな1冊なので紹介します！

登場人物の幸せを願いたくなるような、そして自分も一緒に幸せになれるような、心洗われるお話と出会えること間違いなしです。ぜひ！！



☆クリスマス特集！☆

一大イベント「クリスマス」に関する本は、やはり面白いものが多い！ 真夏にクリスマスの本を読んで涼しい気分になるのはいかがでしょう？ (海外作品ばかりになってしまいますみません…)

『ライ麦畑でつかまえて』 (J・D・サリンジャー)

クリスマスといえばやはりこの本！ 高校を退学になった主人公がクリスマスの街をめぐる話です。とにかく主人公の行動が意味不明、偽名を使ってみたり暴言を吐いてみたり、でも読了後のさわやかな気分はきっとこの本でしか味わえません。社会に大きな影響を与えた一冊で、ビートルズのボーカル、ジョンレノンを銃殺したチャップマンが犯行当時カバンの中にこの一冊を入れていたということでも話題になりましたね。



「賢者の贈り物」 (O・ヘンリー (『O・ヘンリー短編集』所収))

クリスマスプレゼントを恋人に贈りたいけどお金がなくて困っているカップルの話。きれいな髪を持つ彼女に髪飾りを贈りたい男と、彼氏の時計に似合う鎖を贈りたい女。お互いがお互いを想った結果思わぬ結末に終わるのですが……幸せな気分になれる怪作です…！ 一度読んでみてほしい！

『クリスマス・プレゼント』 (ジェフリー・ディーヴァー)

最後に海外ミステリを一冊紹介します。ミステリ界の大家、ディーヴァーの短編集です！ すべての作品で驚かされること間違いなし！ 特にこの中の「三角関係」という短編は本当に傑作！ 映像化不能の、小説でしか味わえない驚愕をぜひ堪能してください……！

